



ヴァレンタイン・サロン 2025

リコーダー

本村睦幸

チェンバロ

永野光太郎

ヴァレンタインの日には、中野へどうぞ！



ロバート・ヴァレンタイン：リコーダーソナタ 作品3の1 ハ長調
レオナルド・レーオ：リコーダーソナタ第7番 ニ短調
フランチェスコ・マンチーニ：リコーダーソナタ 第12番 ト長調
ロバート・ヴァレンタイン：リコーダーソナタ 作品2の1 ニ短調
ほか

2025年2月14日[金]

Space 415

中野区新井2-48-12

<http://space415.info/>

JR中央線／東京メトロ東西線

中野駅北口より徒歩12分

野方警察署近く、区立野方児童館の隣

「芦野」の表札がある入口を入れてすぐ右の建物の2階

休憩なし60分のトークコンサート

同プログラム3回公演

昼 13:30 開演 (13:00 開場)

夕 16:00 開演 (15:00 開場)

夜 19:40 開演 (18:00 開場)

各回20席限定・要予約 ¥3,500

■ご予約・お問い合わせ

デ・ルストホフ: lusthof.concerts@gmail.com

あしの: 090-6045-9311

■ご予約フォーム

<https://forms.gle/zNbShj9R9L8pj9NA9>



中野の Space 415 で、トークを含め、休憩なし 60 分のプログラムを 1 日 3 公演行う「小さな室内楽」。40 席中 20 席限定で、お客様ひとりひとりと演奏者が挨拶を交わせる社交の場となるようなサロンコンサートです。毎年 2 月 14 日のヴァレンタインデーには、その名にあやかって、18 世紀のイタリアで活躍したイギリス人音楽家ロバート・ヴァレンタインの作品とそれに関連する作品を取り上げるプログラムで開催しています。今回は、ヴァレンタインと同じパトロン の庇護を受けていた当時のナポリの巨匠フランチェスコ・マンチーニの作品と、同じくナポリのレオナルド・レーオの作品を取り上げます。共演の永野光太郎さんのチェンバロソロにもご期待ください。少人数のお客様と演奏者で音楽を共有する場を楽しみましょう。



- ⑤ 二本目の角を左折
(角切りに沿って)
- ④ 体育館の次の信号を右折
- ③ 中野体育館信号を左折
- ② 左手のエスカレーター
/階段を登る
- ① 中野駅北口下車
JR/東西線

Space 415
〒165-0026
中野区新井2-48-12
電話03-5380-2430

本村睦幸 Mutsuyuki Motomura (リコーダー)

東洋のナポリに生まれる(笑)。中 2 頃リコーダーにはまり、それをこじらせたまま現在に至る。アムステルダム・スヴェーリンク音楽院卒。W. ファン・ハウエらに師事。アムステルダムを拠点とする十余年にわたる活動を経て、2001 年に帰国。リコーダー音楽が花開いたルネサンス・バロック時代の室内楽の楽しみを現代に活かすことを夢見て、愛好家の方々にとっての聴く喜び、奏でる喜びの双方を見据えた活動を展開し、2009 年に続き 2019 年の「東京リコーダー音楽祭」でディレクターを務めるなど、様々な方向からリコーダー音楽の魅力を発信している。リコーダーに本来的な小さなサロンのあり方を探る〈小さな室内楽〉シリーズや、リコーダーの様々なレパートリーを網羅的に取り上げる〈本村睦幸リコーダーシリーズ〉を活動のベースに置きながら、各地でコンサート活動を展開しつつ「高田馬場リコーダー練習所」を運営してアマチュア活動のサポートにも熱意を傾けている。ワオンレコードより多数の CD をリリースし、各種の音楽配信サービスで聴くことができる (Mutsuyuki Motomura で検索)。最新 CD は「リコーダーによるオトテル作品集」。また「ナポリのリコーダーコンチェルト」はコンサートライブの DVD も発売中。

高田馬場リコーダー練習所コーチ。デ・ルストホフ園長 (自称)。ホームページは、<http://mutsuyukimotomura.com/>



永野光太郎 Tsuyoshi Uwaha (チェンバロ)

ピアノを助川陽子、広瀬美紀子、永岡信幸、ダン・タイ・ソン、クラウディオ・ソアレスの各氏に師事。第 2 回オーストラリア国際ショパンピアノコンクールにおいて第 1 位、併せて聴衆賞を受賞。台北ショパン国際ピアノコンクールにおいて第 1 位。チェンバロ演奏も開始し、J-city TOKYO チェンバロ プレジャー 2014 において第 1 位。2013 年大阪国際音楽コンクールのチェンバロ部門で第 3 位。東京・高円寺のソフィアザール サロン「バロック」において、「Series チェンバロ de 歌う」を定期的に開催している。2022 年より、中野の「スペース 415」で「永野光太郎の、チェンバロと合わせる会」を毎月開催。また、ヴァイオリニストの對馬佳祐氏と Youtube チャンネル「音楽家の日常」を創設。また同氏と数多くの古楽公演を行なっている。2012 年よりチェンバロやヴァーシナル、クラヴィコード、スクエアピアノの製作を行っており、現在までに 13 台の楽器を完成させ、2018 年には高円寺のソフィアザール サロン「バロック」にフレンチ・チェンバロを納入した。2024 年には美術作家の中村眞弥子氏とのコラボレーションで「北欧の森」チェンバロを製作し、お披露目コンサートは好評を博した。